

福原義春の「公」にかかわる経歴

- ・ 1990年（平成2）、民間の立場で文化政策を推進し、企業による芸術文化支援活動を促進する「企業メセナ協議会」創立メンバーとして理事長・会長を歴任。2009年、文化振興による地域コミュニティ再生を訴える緊急提言「ニュー・コンパクト」を発表。
- ・ 1997年（平成9）より経済企画庁の「国民生活審議会」委員。民間の公益活動の推進を提言。その報告書が1998年（平成10）の「特定非営利活動促進法（いわゆるNPO法）」のベースとなる。
- ・ 2003年（平成15）より「公益法人制度改革に関する有識者会議」座長。2004年（平成16）には報告書を取りまとめ、それに基づく関連3法が成立、2008年新公益法人制度が施行された。
- ・ 1999年（平成11）、「かながわ学術研究交流財団（K-FACE）」理事長。同財団が「財団法人神奈川県国際交流協会（KIA）」と統合されて発足した「財団法人かながわ国際交流財団（KIF）」で理事長を務め、学術文化会議運営、NGOの側面的支援等を推進中。
- ・ 2000年（平成12）より東京都写真美術館館長。東京都の職員とともに、新しい運営を試みている。
- ・ 2003年（平成15）より「豊島区文化政策懇話会」座長。懇話会での提言を踏まえ、区は2005年（平成17）「文化創造都市宣言」を発表。
- ・ 2004年（平成16）には、総合研究開発機構（NIRA）「地方政府システム研究会」座長として、三層制の地方分権による国と地域の再生を提言。
- ・ 2007年（平成19）より「創造都市横浜推進協議会」会長。「クリエイティブシティ・ヨコハマの形成を目指した推進体制・提言書」を提出。
- ・ 2007年（平成19）より東京都の「東京芸術文化評議会」会長。25名の委員と共に、東京都の文化政策に関する様々な提言を行っている。

以上